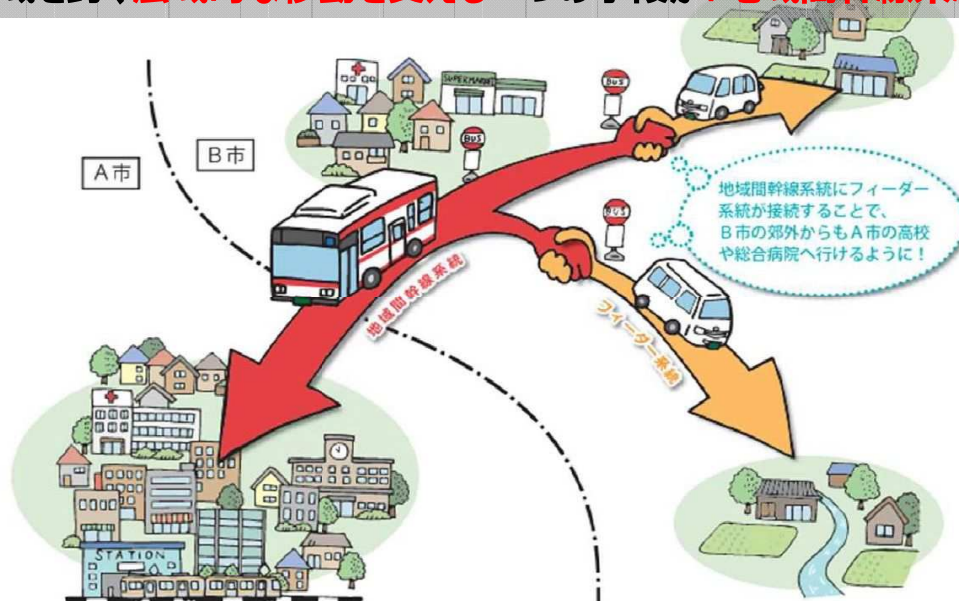


令和7年度 地域間幹線系統に関する事業評価

静岡県交通基盤部都市局地域交通課

地域間幹線系統とは

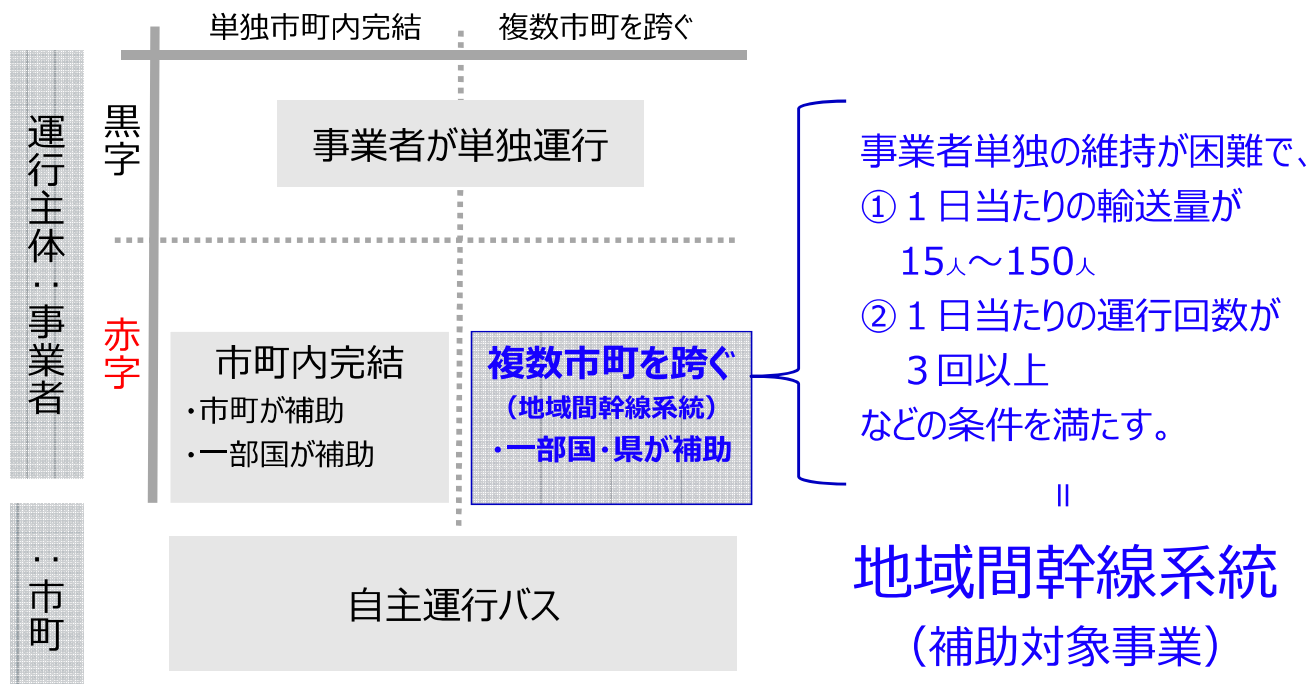
日常生活における通勤、通学、通院の流動実態等から、結びつきの強い市町の組み合わせを**交通圏**として設定。（出典：中部運輸局「中部の交通圏」）
圏内や圏域を跨ぐ**広域的な移動を支える**一つの手段が「**地域間幹線系統**」です。



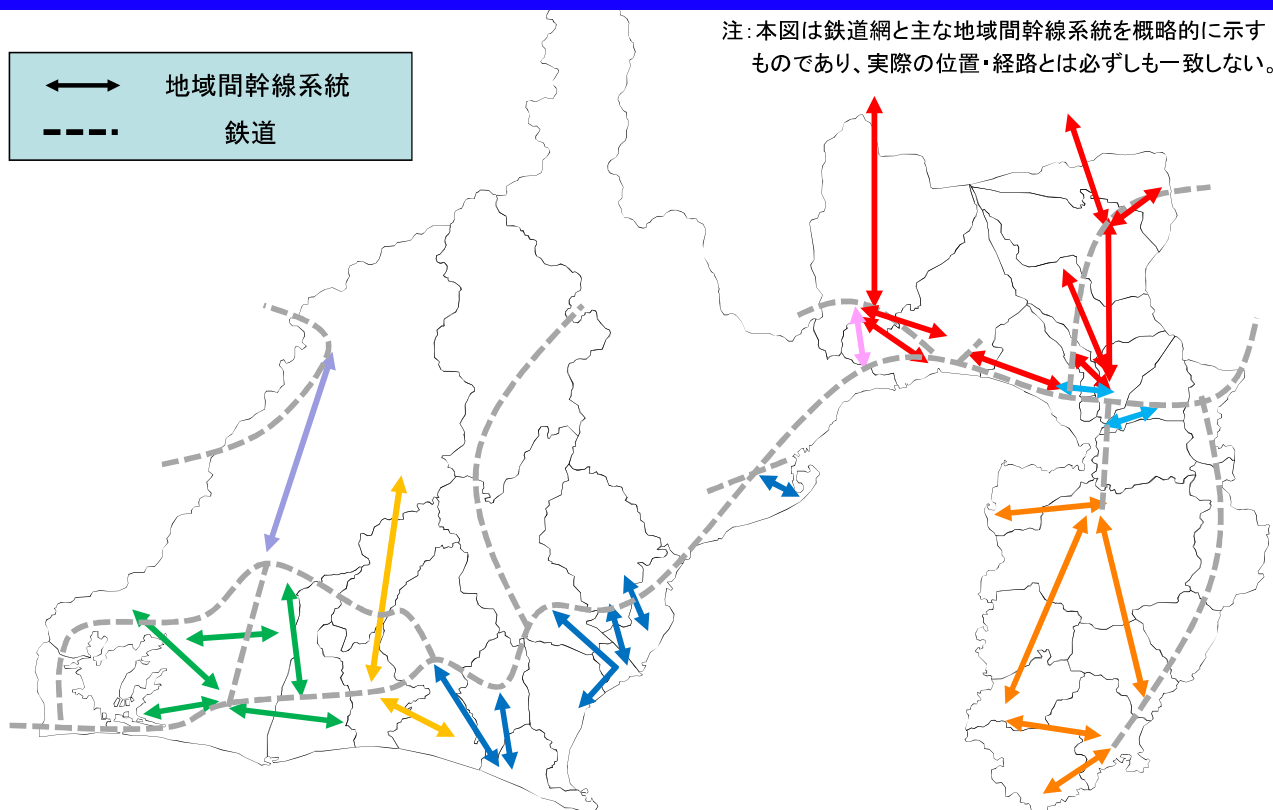
出典：地域間幹線バスが地域で役立つようにするために（監修：中部運輸局）

地域間幹線系統に係る国・県の補助対象事業

収支から見る乗合バス事業の全体像と幹線系統の位置付け



県内の地域間幹線系統(概略図)



地域間幹線系統の評価(なぜ評価を行うのか)

○補助対象事業が適切に行われているか確認する

○評価結果を分析し、事業改善に繋げる

→補助対象事業をより効果的、効率的に実施するため

(参考)事業評価実施の根拠

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱

第3条

5 協議会※は、補助対象事業ごとに補助対象事業について評価を行い、その結果について地方運輸局又は地方航空局の長に報告しなければならない。

※本県においては県地域公共交通活性化協議会バス専門部会を指す。

静岡県の地域間幹線系統評価基準

次の項目を点数化し、合計点をA・B・C・Dで評価

項 目	評価する内容	評 価
①運行回数	実績値（補助要件を満たしているか）	3回/日以上：10点 3回/日未満：0点
②輸送量	実績値（補助要件を満たしているか）	20人/日以上：30点 15人/日以上20人/日未満：5点 15人/日未満：0点
③収支率	実績値	50%以上：20点（満点）、25%未満：3点 25%～50%は3～6点を加算
④乗車人員	計画値に対する実績値	5%超：20点（満点）、0～5%増：15点、 0～5%減：6点、5%以上減：3点
⑤ネットワーク構成	鉄道等への乗換可能拠点数	鉄道駅及びバスターミナルでの結節：1箇所2点 その他のバス停での結節：1箇所1点
⑥広域移動状況	市町を跨いで移動する人の割合	50%以上：10点（満点） 5%未満：0点（5%毎に2～3点加算）
合 計		A評価：86点以上 B評価：66～85点 C評価：51～65点 D評価：50点以下

令和7年度の評価結果

※詳細は別添

	A評価	B評価	C評価	D評価	系統数
山梨交通				1	1
秋葉バスサービス	2	1	1		4
遠州鉄道	5	9		2	1 6
しずてつジャストライン	4	5	1	1	1 1
富士急モビリティ	1	3			4
富士急バス	2				2
富士急静岡バス	1	3			4
富士急シティバス	2	4			6
伊豆箱根バス	2	1			3
東海バス	4	4			8
合 計	2 3	3 0	2	4	5 9

評価結果内訳

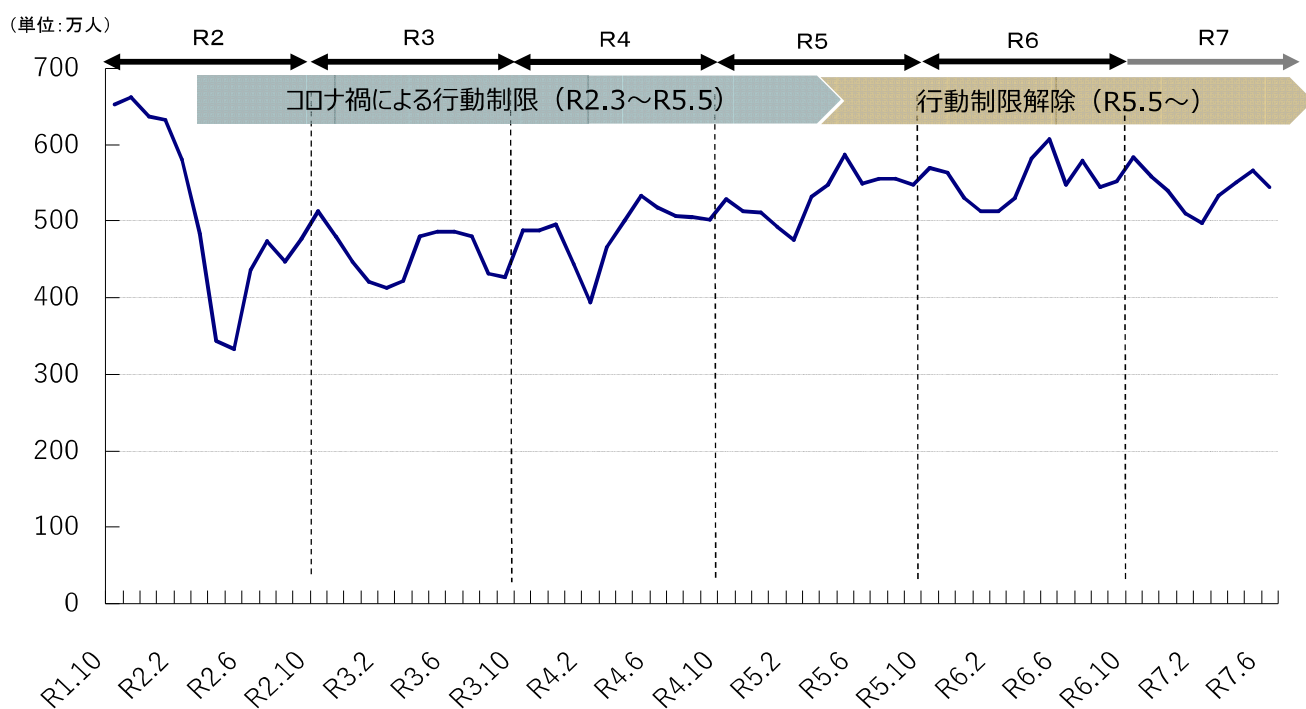
○事業者ごとの系統別の評価

事業者名	系統名	R 6	R 7	比較
1 山梨交通	富士宮駅～イオン、星山台～蒲原病院	C	D	△
2	秋葉線	D	C	○
3 秋葉バスサービス	秋葉中遠線	A	A	—
4	秋葉中遠線	A	A	—
5	秋葉中遠線	B	B	—
6	浜北医大三方原聖隷線	B	B	—
7	磐田市立病院福田線	A	B	△
8	中ノ町磐田線	B	A	○
9	秋葉線	B	D	△
10	磐田天竜線	A	B	△
11	磐田天竜線	B	B	—
12	掛塚さなる台線	A	A	—
13 遠州鉄道	内野台線	A	B	△
14	内野台線	B	A	○
15	磐田市立病院福田線	D	D	—
16	引佐線	A	A	—
17	萩丘都田線	A	B	△
18	大塚ひとみヶ丘線	A	B	△
19	気賀三ヶ日線	A	B	△
20	奥山線	A	B	△
21	掛塚さなる台線	A	A	—
22	三保草薙線	B	A	○
23	五十海大住線	B	A	○
24	焼津岡部線	B	A	○
25	藤枝吉永線	A	A	△
26	島田静波線	A	D	△△
27 しずてつジャストライン	島田静波線	B	B	—
28	藤枝相良線	B	B	—
29	菊川浜岡線	A	B	△
30	掛川大東浜岡線	A	B	△
31	掛川大東浜岡線	B	A	○
32	掛川大東浜岡線	D	C	○
33 富士急モビリティ	御殿場線	A	B	△
34 富士急モビリティ	駿河小山線	A	B	△
35	十里木線	A	B	△
36	河口湖線	A	A	—
37 富士急バス	河口湖線	A	A	—
38	新富士線	A	A	—
39	曾比奈線	C	B	○
40 富士急静岡バス	大湖線	C	B	○
41	大月線	A	A	—
42	大月線	B	B	—
43	駿河平線	B	B	—
44 富士急シティバス	須山線	B	B	○
45	原線	B	B	—
46	桜堤線	B	B	○
47	がんセンター線	B	A	○
48	がんセンター線	B	A	—
49 伊豆箱根バス	沼津大岡三島線	A	A	—
50	長岡伊豆三津シーパラダイス線	B	A	○
51	沼津静浦長岡線	B	B	—
52	石廊崎線	A	A	—
53	天城峠線	A	A	△
54	戸田線	A	B	△
55 東海バス	西海岸線	A	A	—
56	パサラ峠線	A	B	△
57	パサラ峠線	A	B	△
58	下賀茂線	A	A	—
59	柿田線	B	A	○

※本年度の評価結果内訳は別添資料参照

〈参考〉県内の乗合バス利用者の推移

(R1.10～R7.6)



(静岡県地域交通課調査)

燃料価格など物価高騰の影響①

■ 県内の軽油小売価格の推移 (R1.10～R7.10)

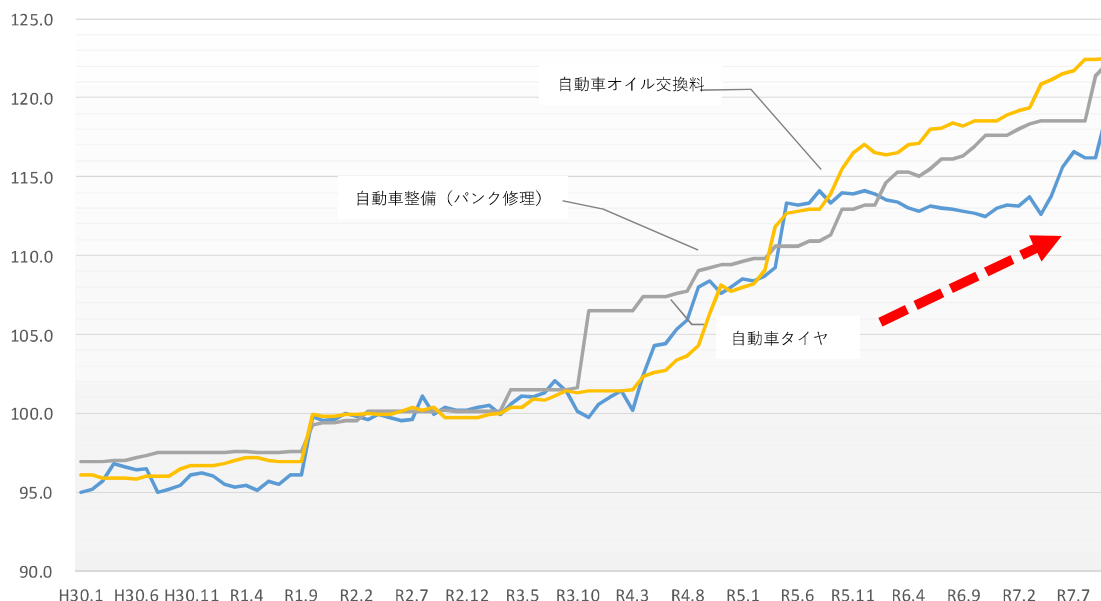


(資源エネルギー庁調査をもとに県地域交通課作成)

燃料価格など物価高騰の影響②

■車両維持費の推移（H30.1～R7.10）

（物価指数：2020年=100）



（2020年基準消費者物価指数を元に県地域交通課作成）

事業者による取組の例

区分	事例
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブ取組強化期間の設定 ・デジタルタコグラフを活用した指導で燃料費を抑制 ・燃料使用量の削減（車両搭載燃料を抑制） ・EVバスの導入による動力費の削減
利用促進策	<ul style="list-style-type: none"> ・バスロケーションシステムの導入 ・スマホ定期券の販売を開始 ・キャッシュレス決済機器の導入 ・市町と連携したバスの乗り方教室の実施 ・HPの多言語化によるインバウンド客の利用促進

県内自治体による支援の事例

区分	事例
利用促進策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通利用券の配布 ・ バスの日イベントの実施 ・ バスロケーションシステム導入費用の補助 ・ キャッシュレス決済機器導入費用の補助 ・ 小学生を対象にしたバス無料デーの実施
物価高騰 対 策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 車両維持費への補助 ・ 燃料費高騰分の補助

令和 7 年度地域間幹線系統の事業評価結果（概要）

1 事業評価の目的

事業評価は、静岡県地域公共交通活性化協議会バス専門部会が定めた静岡県地域公共交通計画に位置づけられた補助対象系統（地域間幹線系統）について、事業の実施状況の確認や目標の達成状況等の評価を行い、市町が開催する地域公共交通会議等における評価内容に対する議論・検討の活性化や広く県民に内容を公表することによる理解の促進など、補助対象事業が効果的、効率的に実施されることを目的として実施している。

2 評価項目

評価の観点	評価項目	説明
補助基準	運行回数	実績運行回数が補助要件を満たしているかを評価
	輸送量	実績輸送量が補助要件を満たしているかを評価
実施状況	収支率	実績値を評価(収支率 50%以上満点)
	乗車人員	計画値に対する実績値を評価(+ 5 %以上満点)
幹線性・広域性	ネットワーク構成	他の系統と乗換可能なアクセス拠点数及びバス停数を評価 (10 点満点)
	広域トリップ状況	バス利用者の市町を跨ぐ移動割合を評価(50%以上満点)

【各項目に評価点を設定し、合計点に応じて以下のとおり評価】

評 価	内 容
A (86 点以上)	地域間幹線系統として優れた役割を果たしている
B (66～85 点)	地域間幹線系統として適した運行となっている
C (51～65 点)	地域間幹線系統として改善に努力を要する
D (0～50 点)	地域間幹線系統として見直しの検討を要する

3 事業評価結果の概要

全体評価：B（参考：R6：B）

- ・評価対象系統全 59 系統中、A 評価：23 系統、B 評価：30 系統、C 評価：2 系統、D 評価：4 系統
- ・平均点数が 80.9 点であることから、全体評価を『B』とした。
- ・各系統の評価結果は別添「令和 7 年度地域間幹線系統総合評価一覧表」のとおり。

令和7年度地域間幹線系統総合評価一覧表

事業者名	系統名	補助基盤(40点)		実施状況(40点)		幹線性・広域性(20点)		点数	評価				事業者 平均	全体評価
		運行回数 (10点)	実績輸送量 (30点)	収支率 (15点)	乗車人員 (15点)	ネットワーク (10点)	広域トリップ (10点)		A 86~100	B 66~85	C 51~65	D 0~50	計	
山梨交通	1 富士宮駅・刈谷山・皇山台・浦原病院線	10	5	15	3	15	6	5	11	41		O	1	41.0
	2 秋葉線(袋井駅前～遠州森町～須多)	10	5	15	3	20	23	10	5	15	53			
	3 秋葉中遠線(袋井駅前～袋井市民病院～遠州森町)	10	30	40	12	20	32	10	5	15	87		4	77.7
	4 秋葉中遠線(大東支所～榑須賀車庫前～袋井駅前口)	10	30	40	12	20	32	6	8	14	86			
秋葉バスサービス	5 秋葉中遠線(榑須賀車庫前～新岡崎～袋井駅前口)	10	30	40	12	20	32	5	8	13	85			
	6 浜北匠大三方原聖林	10	30	40	12	15	27	10	8	18	85			
	7 磐田市立病院福田線(磐田市立病院～磐田駅～豊浜郵便局)	10	30	40	15	6	21	7	5	12	73			
	8 中ノ町磐田線(浜松駅～中ノ町～磐田営業所)	10	30	40	20	15	35	9	5	14	89			
遠州鉄道	9 秋葉線(春日車庫～西鹿島駅～厚生会)	10	5	15	6	3	9	7	8	15	39			
	10 磐田天竜線(山東～新岡崎～磐田駅)	10	30	40	20	6	26	8	10	18	84			
	11 磐田天竜線(ららぽーと磐田)	10	30	40	15	6	21	8	8	16	77			
	12 掛塚さなる台線(浜松駅～掛塚～豊浜郵便局)	10	30	40	20	15	35	9	8	17	92			
	13 内野台線(内野台車庫)	10	30	40	20	3	23	10	8	18	81		16	78.7
	14 内野台線(サントリート浜北)	10	30	40	20	20	40	10	8	18	98			
	15 磐田市立病院福田線(磐田駅前口～豊浜郵便局)	10	5	15	12	6	18	5	8	13	46			
	16 弓佐線	10	30	40	20	15	35	10	5	15	90			
	17 萩丘都田線	10	30	40	20	3	23	10	5	15	78			
	18 大塚ひとみヶ丘線	10	30	40	20	3	23	10	0	10	73			
	19 気賀三ヶ日線	10	30	40	20	6	26	10	5	15	81			
	20 美山線	10	30	40	20	3	23	10	8	18	81			
	21 掛塚さなる台線(浜松駅～芳川～掛塚)	10	30	40	20	20	40	8	5	13	93			
	22 三保草薙線	10	30	40	20	15	35	10	2	12	87			
	23 五十海大生線	10	30	40	15	20	35	10	8	18	93			
しずてつジャストライン	24 焼津岡部線	10	30	40	15	20	35	6	10	16	91			
	25 焼津古永線	10	30	40	15	3	18	10	8	18	76			
	26 島田静波線(島田駅前～静波海岸入口)	10	5	15	12	3	15	10	10	20	50	O		
	27 島田静波線(島田市立総合医療センター～島田駅前～静波海岸入口)	10	30	40	12	3	15	10	10	20	75		11	77.8
	28 藤枝相良線	10	30	40	15	3	18	10	10	20	78			
	29 掛川浜岡線	10	30	40	20	3	23	5	8	13	76			
	30 掛川大東浜岡線(掛川駅前～浜岡営業所)	10	30	40	12	3	15	9	10	19	74			
	31 掛川大東浜岡線(中東通総合医療センター～浜岡営業所)	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100			
	32 掛川大東浜岡線(掛川駅前～大東支所)	10	0	10	12	20	32	4	10	14	56			
	33 御殿場線	10	5	15	20	15	35	10	10	20	70			
	34 駿河小山線	10	30	40	20	3	23	10	10	20	83		4	82.2
	35 十里木線	10	30	40	15	3	18	8	10	18	76			
	36 河口湖線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100			
	37 河口湖線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100		2	100
富士急バス	38 新富士線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100			
	39 曹比奈線	10	5	15	20	20	40	8	10	18	73			
	40 大淵線	10	5	15	20	15	35	10	10	20	70			
	41 大月線(吉原中央駅～富士宮駅)	10	30	40	20	15	35	10	10	20	95		4	78.2
富士急静岡バス	42 大月線(新富士駅～静岡駅富士山世界遺産センター)	10	5	15	20	20	40	10	10	20	75			
	43 駿河平線	10	30	40	20	3	23	8	16	79				
	44 須山線(三島駅～須山)	10	30	40	20	3	23	10	8	18	81			
	45 原線	10	30	40	12	6	18	10	2	12	70		6	82.5
伊豆箱根バス	46 桜堤線	10	30	40	20	6	26	7	10	17	83			
	47 がんセンター線(沼津駅～がんセンター)	10	30	40	20	20	40	6	5	11	91			
	48 がんセンター線(三島駅～がんセンター)	10	30	40	20	15	35	8	8	16	91			
	49 沼津大岡三島線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100		3	89.3
東海バス	50 長岡伊豆三津シーパラダイス線	10	30	40	20	16	35	7	8	15	90			
	51 沼津静浦長岡線	10	30	40	20	6	26	7	5	12	78			
	52 石廊崎線	10	30	40	20	20	40	7	10	17	97			
	53 天城峠線	10	30	40	20	6	26	10	8	18	84			
	54 戸田線	10	30	40	20	3	23	7	8	15	78			
	55 西海岸線	10	30	40	20	15	35	10	10	20	95		8	87.3
	56 ハサラ峠線(下田駅～磐ヶ島)	10	30	40	20	3	23	10	10	20	83			
	57 ハサラ峠線(下田駅～宇久須)	10	5	15	20	20	40	10	10	20	75			
	58 下貫茂線	10	30	40	12	20	32	7	8	15	87			
	59 柿田線	10	30	40	20	20	40	10	10	20	100			
計									23	30	2	4	59	
									80.9					

[全体評価の理由]
・平均評価点数が80.9点である。

B

(参考)

地域間幹線系統項目別評価一覧表（輸送量）

事業者名		系統名	R5実績	R6実績	R7実績	備考
山梨交通	1	富士宮駅・イオン・星山台・蒲原病院線	20.6	19.5	19.5	R8.1～退出
秋葉バスサービス	2	秋葉線(袋井駅前～遠州森町～気多)	19.8	14.5	19.2	
	3	秋葉中遠線(袋井駅前～袋井市民病院～遠州森町)	56.7	58.5	59.5	
	4	秋葉中遠線(大東支所～横須賀車庫前～袋井駅南口)	22.1	24.6	24.6	
	5	秋葉中遠線(横須賀車庫前～新岡崎～袋井駅南口)	54.8	53.7	63.4	
	6	浜北医大三方原聖隷	25.0	20.4	21.7	
遠州鉄道	7	磐田市立病院福田線(磐田市立病院～磐田駅～豊浜郵便局)	27.2	24.9	24.9	
	8	中ノ町磐田線(浜松駅～中ノ町～磐田営業所)	85.5	80.0	81.4	
	9	秋葉線(春野車庫～西鹿島駅～厚生会)	21.7	25.0	19.1	
	10	磐田天竜線(山東～新開～磐田駅)	28.4	25.9	24.9	
	11	磐田天竜線(ららぽーと経由)	61.4	59.6	55.3	
	12	掛塚さなる台線(浜松駅～掛塚～豊浜郵便局)	19.6	20.5	22.1	
	13	内野台線(内野台車庫)	46.2	42.3	40.0	
	14	内野台線(サンストリート浜北)	49.0	36.1	46.2	
	15	磐田市立病院福田線(磐田駅南口～豊浜郵便局)	21.7	19.4	17.6	
	16	引佐線	71.2	66.5	66.5	
	17	萩丘都田線	29.5	28.5	27.5	
	18	大塚ひとみヶ丘線	85.5	93.8	83.4	
	19	気賀三ヶ日線	61.0	65.3	63.6	
	20	奥山線	92.1	107.3	104.3	
	21	掛塚さなる台線(浜松駅～芳川～掛塚)	137.7	130.3	137.7	
しずてつジャストライン	22	三保草薙線	40.4	39.9	41.6	
	23	五十海大住線	26.7	25.2	29.9	
	24	焼津岡部線	54.0	50.1	57.2	
	25	藤枝吉永線	45.3	57.2	44.9	
	26	島田静波線(島田駅前～静波海岸入口)	23.1	25.6	19.2	
	27	島田静波線(島田市立総合医療センター～島田駅前～静波海岸入口)	26.6	23.8	20.4	
	28	藤枝相良線	55.4	59.6	49.9	
	29	菊川浜岡線	38.0	46.5	45.0	
	30	掛川大東浜岡線(掛川駅前～浜岡営業所)	24.6	42.9	37.7	
	31	掛川大東浜岡線(中東遠総合医療センター～浜岡営業所)	37.2	33.5	32.3	
	32	掛川大東浜岡線(掛川駅前～大東支所)	31.9	6.7	11.3	R7.10～「30掛川大東浜岡線」と統合
	33	御殿場線	30.0	24.5	18.5	
富士急モビリティ	34	駿河小山線	31.8	34.4	27.2	
	35	十里木線	25.4	30.0	24.3	
	36	河口湖線	21.6	23.4	28.8	
富士急バス	37	河口湖線	74.0	79.2	81.0	
	38	新富士線	17.7	25.5	27.9	
富士急静岡バス	39	曾比奈線	16.1	15.1	15.6	
	40	大淵線	16.7	15.5	15.5	
	41	大月線(吉原中央駅～富士宮駅)	85.1	79.2	81.1	
	42	大月線(新富士駅～静岡県富士山世界遺産センター)	17.4	15.3	15.6	
富士急シティバス	43	駿河平線	45.9	30.5	22.6	
	44	須山線(三島駅～須山)	34.8	31.0	26.4	
	45	原線	31.9	31.5	24.3	
	46	桜堤線	54.9	58.8	53.5	
	47	がんセンター線(沼津駅～がんセンター)	26.4	24.2	21.8	
	48	がんセンター線(三島駅～がんセンター)	58.5	37.3	39.2	
伊豆箱根バス	49	沼津大岡三島線	126.5	118.2	137.8	
	50	長岡伊豆三津シーパラダイス線	76.1	68.5	69.2	
	51	沼津静浦長岡線	149.4	135.0	135.7	
東海バス	52	石廊崎線	48.0	46.5	60.0	
	53	天城峠線	39.0	40.0	48.0	
	54	戸田線	26.6	37.8	25.5	
	55	西海岸線	54.4	58.9	59.8	
	56	バサラ峠線(下田駅～堂ヶ島)	44.0	48.8	48.8	
	57	バサラ峠線(下田駅～宇久須)	27.9	23.6	19.3	
	58	下賀茂線	—	22.7	20.5	
	59	柿田線	—	72.0	80.4	
計(平均値)			46.0	45.0	44.7	

地域間幹線系統 事業評価基準

項目	評価のポイント	満点	配点
補助基準	国庫補助基準を満たしたか	40	
運行回数	運行回数 3 回/日以上を確保したか	10	3 回/日以上 : 10 点 3 回/日未満 : 0 点
輸送量	実績輸送量15人/日以上を達成したか	30	20人/日以上 : 30点 15人/日以上20人/日未満 : 5 点 15人/日未満 : 0 点
実施状況	効果的に実施されたか	40	
収支率	収入を確保できているか	20	50%以上 : 20点 40%以上50%未満 : 15点 30%以上40%未満 : 12点 25%以上30%未満 : 6 点 25%未満 : 3 点
乗車人員	乗車人員の実績は計画を上回ったか	20	5 %以上増 : 20点 0 % ~ 5 %未満増 : 15点 5 %未満減 : 6 点 5 %以上減 : 3 点
幹線性・広域性	幹線としての役割を果たしたか	20	
ネットワーク構成	他の系統と乗換可能なアクセス拠点 (バス停数) はあるか	10	拠点 (駅・B T) : 2 点 / 箇所 乗換可能バス停 : 1 点 / 箇所
広域トリップ状況	市町 (H13. 3. 31現在の市町) 跨ぎの移動はされているか	10	50%以上 : 10点 30%以上50%未満 : 8 点 10%以上30%未満 : 5 点 5 %以上10%未満 : 2 点 5 %未満 : 0 点
合計		100	86点以上 : A 評価 66~85点 : B 評価 51~65点 : C 評価 50点以下 : D 評価

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
しずてつジャストライン株式会社	島田静波線	島田駅前		静波海岸入口
系統キロ程	関係市町			
20.4 km	島田市	吉田町	牧之原市	

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価 点数	(参考) 前年度実績
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—
運行回数 (10)	運行回数 3 回/日以上を確保したか	6.2 回/日	10	6.4 回/日
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	19.2 人/日	5	25.6 人/日
実施状況 (40)	効果的に実施されたか	—	—	—
収支率 (20)	収入を確保できているか	33.2 %	12	39.3 %
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上回ったか	実績 50,944 人	3	61,467 人
		計画 61,467 人		50,814 人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセス拠点 (バス停数) はあるか (詳細別記)	拠点 3 箇所	10	3 箇所
		乗継バス停 7 箇所		7 箇所
広域トリップ状況 (10)	市町 (H13.3.31現在の市町) 跨ぎの移動はされているか	59.3 %	10	60.4 %

補助基準	15 /40
実施状況	15 /40
幹線性・広域性	20 /20
合計	50 /100

評価指標

D

A：幹線として優れた役割を果たしている

B：幹線として適した運行となっている

C：改善に努力を要する

D：見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	<ul style="list-style-type: none"> ・島田市、吉田町及び牧之原市住民の島田駅までの通勤、通学 ・榛原総合病院までの通院 ・島田商業高校、榛原高校への通学
ネットワーク 構成の詳細	<p>(拠点)</p> <p>島田駅前、榛原総合病院、静波海岸入口</p>
	<p>(乗継ぎバス停)</p> <p>道悦島、色尾、井口塚、吉田IC入口、片岡北吉田特別支援学校、牧之原警察署前、静波二丁目</p>
公共施設・ 拠点施設との アクセス状況	<p>(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設)</p> <p>島田駅、島田商業高校、アピタ島田店、島田第五小学校、初倉南小学校、初倉小学校、倉橋学園キラリ高校、自彊小学校、吉田特別支援学校、吉田町役場、吉田中学校、中央小学校、住吉小学校、牧之原警察署、榛原総合病院、細江小学校、榛原高校、川崎小学校、牧之原市役所榛原庁舎</p>

4 事業者の取組

項目	内容
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ・JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・小学生へのバスの乗り方教室の実施 ・バスの乗り方リーフレットの配布 ・全国IC相互利用の導入（2013年3月より） ・ICカード電子マネー機能搭載（2016年11月より） ・バスロケーションシステムの運用による利便性向上 ・運賃改定の実施 ・しずてつバスフェスタの開催
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善（デジタルタコグラフによる燃費改善のための指導） ・燃料使用料の削減（車両搭載燃料の抑制） ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し ・外注修繕費の削減

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
しずてつジャストライン株式会社	島田静波線	島田市立総合医療センター	島田駅前	静波海岸入口
系統キロ程	関係市町			
22.8 km	島田市	吉田町	牧之原市	

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価 点数	(参考) 前年度実績
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—
運行回数 (10)	運行回数 3 回/日以上を確保したか	6.8 回/日	10	6.8 回/日
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	20.4 人/日	30	23.8 人/日
実施状況 (40)	効果的に実施されたか	—	—	—
収支率 (20)	収入を確保できているか	31.7 %	12	33.8 %
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上回ったか	実績 61,184 人 計画 65,175 人	3	65,175 人 78,650 人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセス拠点 (バス停数) はあるか (詳細別記)	拠点 4 箇所 乗継バス停 8 箇所	10	4 箇所 8 箇所
広域トリップ状況 (10)	市町 (H13.3.31現在の市町) 跨ぎの移動はされているか	50.6 %	10	52.4 %

補助基準	40 /40
実施状況	15 /40
幹線性・広域性	20 /20
合計	75 /100

評価指標

B

A：幹線として優れた役割を果たしている

B：幹線として適した運行となっている

C：改善に努力を要する

D：見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	<ul style="list-style-type: none"> ・島田市、吉田町及び牧之原市住民の島田駅までの通勤、通学 ・榛原総合病院、島田市立総合医療センターまでの通院 ・島田商業高校、榛原高校への通学
ネットワーク 構成の詳細	(拠点) 静波海岸入口、榛原総合病院、島田駅前、島田市立総合医療センター
	(乗継ぎバス停) 島田郵便局前、道悦島、色尾、井口塚、吉田IC入口、片岡北吉田特別支援学校、牧之原警察署前、静波二丁目
公共施設・ 拠点施設との アクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 島田市立総合医療センター、島田市立看護専門学校、島田第四小学校、島田第二中学校、附属島田中学校、島田第二小学校、静岡家裁出張所、島田年金事務所、島田駅、島田商業高校、アピタ島田店、島田第五小学校、初倉南小学校、初倉小学校、倉橋学園キラリ高校、自彊小学校、吉田特別支援学校、吉田町役場、吉田中学校、中央小学校、住吉小学校、牧之原警察署、榛原総合病院、細江小学校、榛原高校、川崎小学校、牧之原市役所榛原庁舎

4 事業者の取組

項目	内容
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ・JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・小学生へのバスの乗り方教室の実施 ・バスの乗り方リーフレットの配布 ・全国IC相互利用の導入（2013年3月より） ・ICカード電子マネー機能搭載（2016年11月より） ・バスロケーションシステムの運用による利便性向上 ・運賃改定の実施 ・しずてつバスフェスタの開催
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブの徹底 ・利用実態に見合った運行便数への改善 ・燃料消費率の改善（デジタルタコグラフによる燃費改善のための指導） ・燃料使用料の削減（車両搭載燃料の抑制） ・車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し ・外注修繕費の削減

地域間幹線系統 事業評価シート

1 系統の概要

事業者名	系統名	起点	主な経由地	終点
しずてつジャストライン株式会社	藤枝相良線	藤枝駅南口	静波海岸入口	相良営業所
系統キロ程	関係市町			
26.5 km	藤枝市	焼津市	吉田町	牧之原市

2 評価結果

項目	評価のポイント	実績	評価 点数	(参考) 前年度実績
補助基準 (40)	国庫補助基準を満たしたか	—	—	—
運行回数 (10)	運行回数 3 回/日以上を確保したか	11.1 回/日	10	11.7 回/日
輸送量 (30)	実績輸送量15人/日以上を達成したか	49.9 人/日	30	59.6 人/日
実施状況 (40)	効果的に実施されたか	—	—	—
収支率 (20)	収入を確保できているか	45.4 %	15	45.8 %
乗車人員 (20)	乗車人員の実績は計画を上回ったか	実績 140,355 人	3	163,313 人
		計画 163,313 人		169,492 人
幹線性・広域性 (20)	幹線としての役割を果たしたか	—	—	—
ネットワーク構成 (10)	他の系統と乗換可能なアクセス拠点 (バス停数) はあるか (詳細別記)	拠点 3 箇所	10	3 箇所
		乗継バス停 8 箇所		8 箇所
広域トリップ状況 (10)	市町 (H13.3.31現在の市町) 跨ぎの移動はされているか	75.9 %	10	76.3 %

補助基準	40 /40
実施状況	18 /40
幹線性・広域性	20 /20
合計	78 /100

評価指標

B

A：幹線として優れた役割を果たしている

B：幹線として適した運行となっている

C：改善に努力を要する

D：見直しの検討を要する

3 説明事項

項目	内容
主な運行目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 藤枝市、焼津市、吉田町及び牧之原市住民の藤枝駅までの通勤 ・ 清流館高校、榛原高校、相良高校までの通学 ・ 榛原総合病院までの通院
ネットワーク 構成の詳細	(拠点) 藤枝駅南口、榛原総合病院、静波海岸入口
	(乗継ぎバス停) 東名大井川、宗高町、片岡北吉田特別支援学校、吉田町役場、牧之原警察署前、静波二丁目、相良本通、相良営業所
公共施設・ 拠点施設との アクセス状況	(バス停から半径500m以内に存在する主な公共・拠点施設) 藤枝駅、静岡県武道館、藤枝順心高校、BiVi藤枝、藤枝消防署南分署、高洲南小学校、清流館高校、倉橋学園キラリ高校、自彊小学校、吉田特別支援学校、吉田町役場、吉田中学校、牧之原警察署、榛原総合病院、細江小学校、牧之原健康福祉センター、榛原高校、川崎小学校、牧之原市役所榛原庁舎、牧之原市役所相良庁舎、相良小学校・中学校・高校

4 事業者の取組

項目	内容
増収策	<ul style="list-style-type: none"> ・ JR運行時刻に合わせたダイヤ改定の実施 ・ 小学生へのバスの乗り方教室の実施 ・ バスの乗り方リーフレットの配布 ・ 全国IC相互利用の導入（2013年3月より） ・ ICカード電子マネー機能搭載（2016年11月より） ・ バスロケーションシステムの運用による利便性向上 ・ 運賃改定の実施 ・ しずてつバスフェスタの開催
費用削減策	<ul style="list-style-type: none"> ・ エコドライブの徹底 ・ 利用実態に見合った運行便数への改善 ・ 燃料消費率の改善（デジタルタコグラフによる燃費改善のための指導） ・ 燃料使用料の削減（車両搭載燃料の抑制） ・ 車両使用年数の見直しと車両修繕費の基準見直し ・ 外注修繕費の削減

地域間幹線系統に対する市町取組方針報告書（案）

市町名		吉田町
対象系統		
評価指標	A	
	B	<ul style="list-style-type: none"> ・島田静波線（島田市立総合医療センター～島田駅前～静波海岸入口） ・藤枝相良線
	C	
	D	<ul style="list-style-type: none"> ・島田静波線（島田駅前～静波海岸入口）
市町の取組		
<ul style="list-style-type: none"> ・幹線への乗継が可能なオンデマンド型乗合タクシーの運行 ・朝の通勤及び通学の需要が多い時間帯への乗継が可能になるオンデマンド型乗合タクシーの定時定路線運行の実施 ・幹線への乗継促進のため、バス定期券利用者へのオンデマンド型乗合タクシー運賃の割引 ・町ホームページへ幹線路線図の掲載、運賃・経路検索のホームページへのリンク ・役場庁舎入口へのバスロケーションシステムの設置 ・町役場前停留所付近に時刻表、Wi-Fi、エアコン、観光等のチラシを備えたバス待合所を設置し 待合環境向上 		
今後の方針（市町の意向等）		
評価指標	AまたはB	引き続き国、県の補助を受けるとともに、事業者と連携し、上記取組を継続し利用促進を図る。
	CまたはD	<p>島田静波線（島田駅前～静波海岸入口）は主に通勤・通学に利用する時間帯に運行している系統であるため、学生の利用が多くなっている。</p> <p>町としては引き続き、通勤・通学の時間帯から幹線への乗継が可能なオンデマンド型乗合タクシーを運行することで利用者の幹線までの移動の負担軽減を図るため、運行事業者にはより学生が通学に利用しやすい運行時間の見直しを検討し、系統の維持に努めるよう働きかける。</p>

(記載要領)

- 1 「市町の取組」は、評価期間に実施した利用促進策等の取組を記載してください。
- 2 「今後の方針（市町の意向等）」は、当該系統をどのように維持していくか、簡潔に記載してください。なお、輸送量が20人/日未満（特に評価指標がCまたはDの系統）については、国及び県の補助要件（輸送量15人/日等）を満たさなくなり、今後補助を受けられなくなるおそれがあるため、より具体的な取組や市町の意向を記載してください（必要に応じて詳細資料（様式任意）を添付すること）。

吉田町のバス利用状況

当資料 の目的

「吉田町 地域公共交通計画」数値目標は、前倒しで達成しているが、この成果は「特急静岡相良線」の利用に頼ったものとなり、路線バスの「静岡静波線」「藤枝相良線」は利用の減少が見られ厳しい状況にある。通学定期による利用の減少も顕著である。利用の実態を具体的に把握し、その要因について多面的に検討し、今後の政策の検討材料とする。

1.吉田町内バス停乗降者数

■路線別 吉田町内の乗降客数(年間)

路線名	R1(2019)年度		R2(2020)年度		R3(2021)年度		R4(2022)年度		R5(2023)年度		R6(2024)年度	
	乗降客数 (人)	前年比	乗降客数 (人)	前年比	乗降客数 (人)	前年比	乗降客数 (人)	前年比	乗降客数 (人)	前年比	乗降客数 (人)	前年比
101 特急静岡相良線	330,970	-23.1%	254,629	11.3%	283,372	11.3%	323,940	14.3%	339,210	4.7%	354,999	4.7%
128 島田静波線	68,263	-35.5%	44,049	17.6%	51,794	17.6%	54,887	6.0%	58,350	6.3%	55,325	-5.2%
130 藤枝相良線	38,744	-27.7%	28,023	7.7%	30,179	7.7%	37,179	23.2%	39,412	6.0%	36,004	-8.6%
合計	437,977	-25.4%	326,701	11.8%	365,345	11.8%	416,006	13.9%	436,972	5.0%	446,328	2.1%

数値目標は達成

減少傾向が著しい

新型コロナウイルス緊急事態宣言期間とまん延防止等重点措置期間

(参考)「吉田町 地域公共交通計画」数値目標
目標(必達) 350,000人(R8年度)
目標(希望) 438,000人(R8年度)

■主なバス停 乗降者数(年間)

バス停・路線	R1(2019)年度		R2(2020)年度		R3(2021)年度		R4(2022)年度		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R6/R1増減比
	乗降客数 (人)	前年比	乗降客数 (人)	前年比	乗降客数 (人)	前年比	乗降客数 (人)	前年比	乗降客数 (人)	前年比	乗降客数 (人)	前年比	
吉田IC(インター)入口 3路線の合計	143,071	-	114,119	-20.2%	131,153	14.9%	143,561	9.5%	150,001	4.5%	151,020	0.7%	5.6%
101 特急静岡相良線	-	-	-	-	125,054	-	136,344	9.0%	141,435	3.7%	143,738	1.6%	-
128 島田静波線	-	-	-	-	6,099	-	7,217	18.3%	8,566	18.7%	7,282	-15.0%	-
130 藤枝相良線	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
片岡北吉田特別支援学校 3路線の合計	101,467	-	69,941	-31.1%	79,449	13.6%	93,360	17.5%	94,615	1.3%	94,850	0.2%	-6.5%
101 特急静岡相良線	-	-	-	-	65,115	-	77,101	18.4%	77,875	1.0%	78,528	0.8%	-
128 島田静波線	-	-	-	-	8,055	-	8,005	-0.6%	7,990	-0.2%	9,130	14.3%	-
130 藤枝相良線	-	-	-	-	6,279	-	8,254	31.5%	8,750	6.0%	7,192	-17.8%	-
吉田町役場 3路線の合計	128,727	-	94,492	-26.6%	104,595	10.7%	124,379	18.9%	134,092	7.8%	145,599	8.6%	13.1%
101 特急静岡相良線	-	-	-	-	93,203	-	110,495	18.6%	119,900	8.5%	132,733	10.7%	-
128 島田静波線	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
130 藤枝相良線	-	-	-	-	11,392	-	13,884	21.9%	14,192	2.2%	12,866	-9.3%	-
3つのバス停 合計	373,265	-	278,552	-25.4%	315,197	13.2%	361,300	14.6%	378,708	4.8%	391,469	3.4%	4.9%

(参考)「吉田町 地域公共交通計画」数値目標
目標(必達) 299,000人(R8年度)
目標(希望) 374,000人(R8年度)

数値目標は達成

吉田町のバス利用状況 <通学定期>

2.吉田町内 通学定期による乗降者数

■路線別 吉田町内の通学定期による乗降客数(年間)

路線名	R1(2019)年度		R2(2020)年度		R3(2021)年度		R4(2022)年度		R5(2023)年度		R6(2024)年度	
	乗降客数 (人)	前年比	乗降客数 (人)	前年比	乗降客数 (人)	前年比	乗降客数 (人)	前年比	乗降客数 (人)	前年比	乗降客数 (人)	前年比
101 特急静岡相良線	—	—	—	—	76,657	—	93,400	21.8%	97,247	4.1%	97,513	0.3%
128 島田静波線	—	—	—	—	21,071	—	20,056	-4.8%	18,036	-10.1%	13,387	-25.8%
130 藤枝相良線	—	—	—	—	3,711	—	4,620	24.5%	5,359	16.0%	4,173	-22.1%
合計	—	—	—	—	101,439	—	118,076	16.4%	120,642	2.2%	115,073	-4.6%

島田静波線の減少が著しい。藤枝相良線も20ポイント以上の減少が起こった。
原因は、高校の定数削減以外にもあるか。

新型コロナウイルス緊急事態宣言期間とまん延防止等重点措置期間

(参考)「吉田町 地域公共交通計画」数値目標との照合

路線名	R1(2019)年度		R2(2020)年度		R3(2021)年度		R4(2022)年度		R5(2023)年度		R6(2024)年度	
	乗降客数 (人)	前年比	乗降客数 (人)	前年比	乗降客数 (人)	前年比	乗降客数 (人)	前年比	乗降客数 (人)	前年比	乗降客数 (人)	前年比
128 島田静波線	—	—	—	—	21,071	—	20,056	-4.8%	18,036	-10.1%	13,387	-25.8%
130 藤枝相良線	—	—	—	—	3,711	—	4,620	24.5%	5,359	16.0%	4,173	-22.1%
合計	47,595	-28.8%	33,877	-26.8%	24,782	-26.8%	24,676	-0.4%	23,395	-5.2%	17,560	-24.9%

数値目標の達成は厳しい状況

(参考)「吉田町 地域公共交通計画」数値目標
目標(必達) 38,000人(R8年度)
目標(希望) 49,000人(R8年度)

■路線別 吉田町内の通学定期利用の割合(年間)

路線名	R3(2021)年度		R4(2022)年度		R5(2023)年度		R6(2024)年度	
	全体 (人)	通学定期 (人)	全体 (人)	通学定期 (人)	全体 (人)	通学定期 (人)	全体 (人)	通学定期 (人)
101 特急静岡相良線	283,372	76,657	323,940	93,400	339,210	97,247	354,999	97,513
128 島田静波線	51,794	21,071	54,887	20,056	58,350	18,036	55,325	13,387
130 藤枝相良線	30,179	3,711	37,179	4,620	39,412	5,359	36,004	4,173
合計	365,345	101,439	416,006	118,076	436,972	120,642	446,328	115,073

島田静波線は、全体に占める定期の割合は減少し続けている。
2024年度は特急静岡相良線の方が高くなっている。

構成比

27.5%

24.2%

11.6%

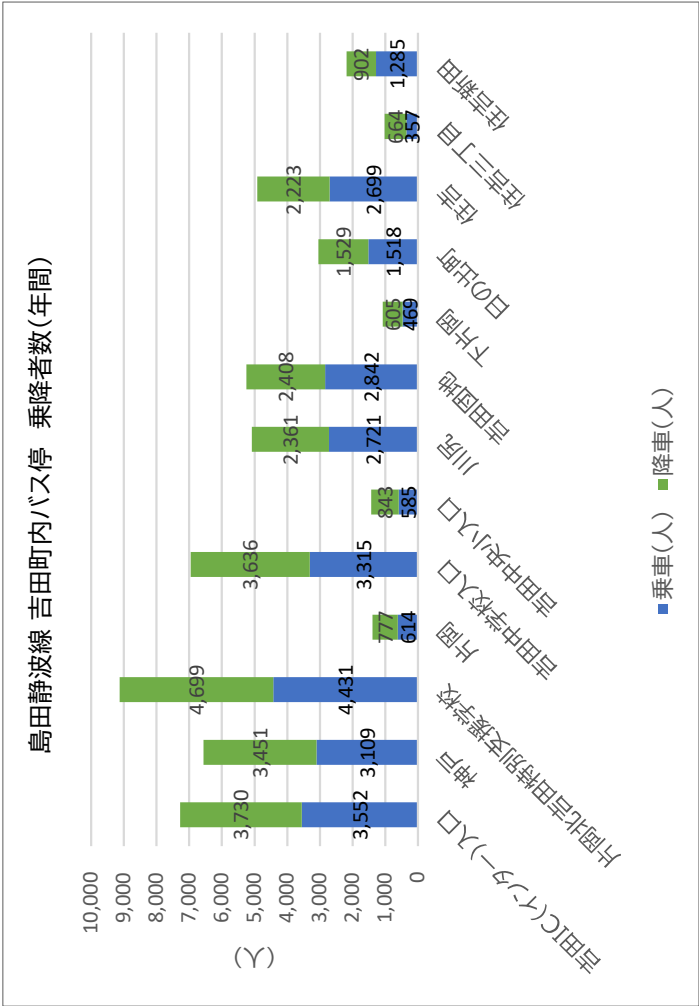
25.8%

吉田町内のバス停 利用状況

1. 島田静波線

■ 吉田町内の乗降数(2024年04月01日 ~ 2025年03月31日)

バス停名	乗車(人)	降車(人)	合計	構成比
吉田IC(インター)入口	3,552	3,730	7,282	13.2%
神戸	3,109	3,451	6,560	11.9%
片岡北吉田特別支援学校	4,431	4,699	9,130	16.5%
片岡	614	777	1,391	2.5%
吉田中学校入口	3,315	3,636	6,951	12.6%
吉田中央小入口	585	843	1,428	2.6%
川尻	2,721	2,361	5,082	9.2%
吉田団地	2,842	2,408	5,250	9.5%
下片岡	469	605	1,074	1.9%
日の出町	1,518	1,529	3,047	5.5%
住吉	2,699	2,223	4,922	8.9%
住吉三丁目	357	664	1,021	1.8%
住吉新田	1,285	902	2,187	4.0%
合計	27,497	27,828	55,326	100.0%



以下4つのバス停は、利用全体の10%以上を占め、利用が多い。

- ・吉田IC(インター)入口
- ・片岡北吉田特別支援学校
- ・吉田中学校入口
- ・神戸

以下4つのバス停は、2～3%で利用が少ない。

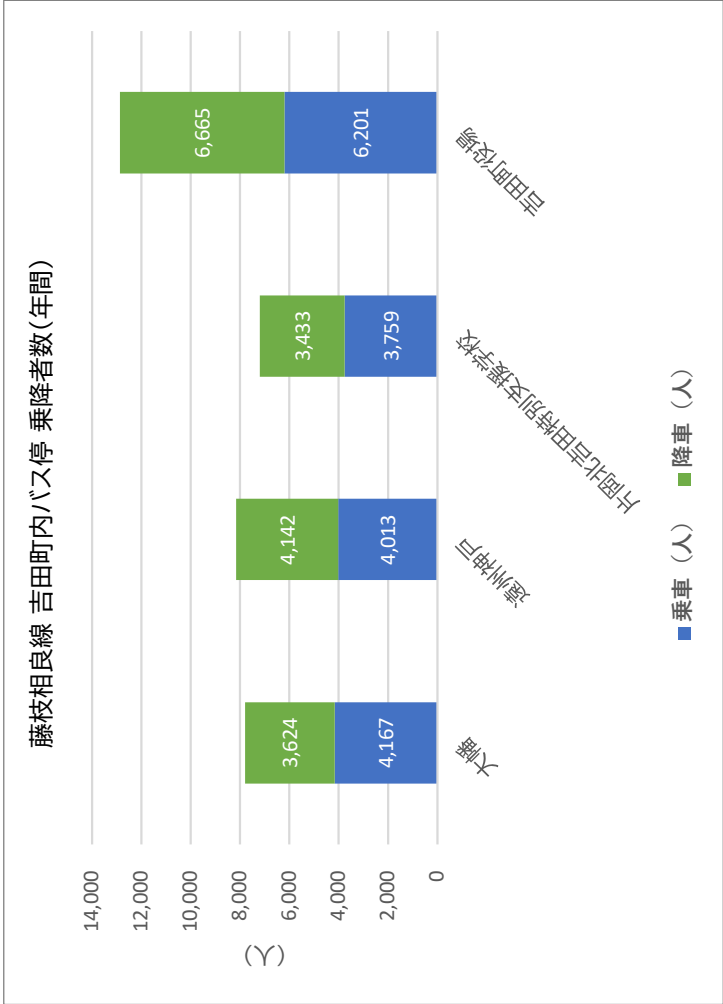
- ・住吉三丁目
- ・下片岡
- ・片岡
- ・吉田中央小入口

吉田町内のバス停 利用状況

2. 藤枝相良線

■吉田町内の乗降数(2024年04月01日～2025年03月31日)

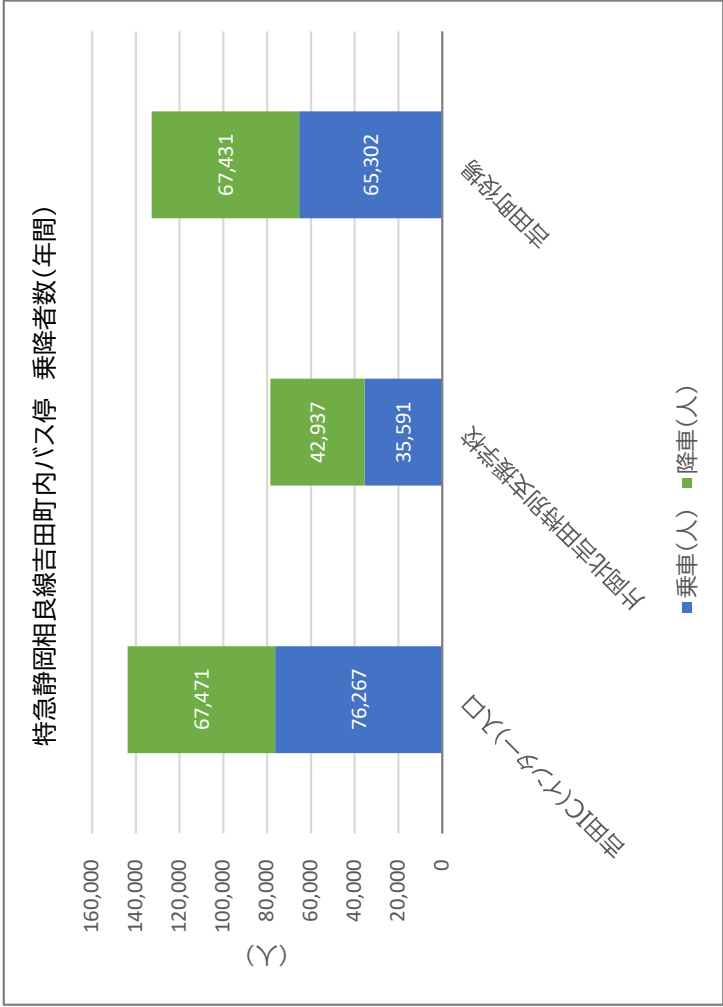
バス停名	乗車(人)	降車(人)	合計	構成比
大幡	4,167	3,624	7,791	21.6%
遠州神戸	4,013	4,142	8,155	22.7%
片岡北吉田特別支援学校	3,759	3,433	7,192	20.0%
吉田町役場	6,201	6,665	12,866	35.7%
合計	18,140	17,864	36,005	100.0%



3. 特急静岡相良線

■吉田町内の乗降数(2024年04月01日～2025年03月31日)

バス停名	乗車(人)	降車(人)	合計	構成比
吉田IC(インター)入口	76,267	67,471	143,738	40.5%
片岡北吉田特別支援学校	35,591	42,937	78,528	22.1%
吉田町役場	65,302	67,431	132,733	37.4%
合計	177,160	177,839	355,000	100.0%



「藤枝相良線」「特急静岡相良線」に共通して、「吉田町役場」の利用が多く、交通の結末点としての存在感が高くなっている。

OD調査の結果から読み取れる事務局の考察ポイント

【往路】

- ・ 島田駅から井口まで通勤定期の利用者が複数いる
- ・ 学生定期の利用者は少なく、島田市からの学生定期利用者はいないことから、島田市から榛原高校への通学手段としてバスが選択肢となっていない
- ・ 島田駅から通学定期を利用し特別支援学校に通う利用者が多くみられる
- ・ 帰宅時間帯について、通勤・通学時間帯に牧之原方面から島田市に行く学生がいるため、帰宅手段としてバスを利用する学生的利用者もいる

【復路】

- ・ 通勤・通学時間帯に島田駅や島田七丁目で下車する学生定期利用者が2つの時間帯でともに多く見られる
- ・ 通勤定期の利用者は少ない
- ・ 吉田ICや井口堺で乗換をしている定期利用者がある
- ・ 牧之原から乗車する人数は少ないが、高校への通学手段として活用がされている
- ・ 帰宅時間について、往路の利用者が少ないためか、島田方面への帰宅にバスを利用する通学定期利用者はほとんどいない

【改善検討点】

- ・ メインターゲットは学生を想定しているが、島田から牧之原市に向かう、榛原高校のバス利用者が少なく利用者が伸びない要因となっている
- ・ なぜ榛原高校利用者が少ないのか課題を明確にし、改善を図る必要がある